

CASBEE 評価認証機関認定制度要綱施行規則

(評価認証の区分及び評価員)

第1条 CASBEE 評価認証機関認定制度要綱（以下「要綱」という。）第2条第三号に定める認証機関が行う評価認証の区分とは、次の各号に掲げる区分とする。

- 一 CASBEE 戸建・新築、CASBEE-戸建（新築）による評価認証
- 二 CASBEE-新築、CASBEE-既存、CASBEE-改修、CASBEE-新築（簡易版）、CASBEE-既存（簡易版）、CASBEE-改修（簡易版）、CASBEE-建築（新築）、CASBEE-建築（既存）、CASBEE-建築（改修）、CASBEE-短期使用、自治体版CASBEEによる評価認証
- 三 CASBEE 不動産マーケット普及版、CASBEE-不動産による評価認証

2 要綱第2条第五号に定める評価認証の区分に応じた評価員とは、次の各号に掲げるものとする。

- 一 前項第一号については CASBEE 戸建評価員
- 二 前項第二号については CASBEE 建築評価員
- 三 前項第三号については CASBEE 不動産評価員

(認証業務規程)

第2条 要綱第14条第2項に定める事項は、次に掲げるものとする。

- 一 評価認証（以下「認証」という。）の業務を行う時間及び休日に関する事項
- 二 事務所の所在地及びその事務所が評価認証の業務を行う区域に関する事項
- 三 評価認証を行う区分に関する事項
- 四 評価認証の業務の実施方法に関する事項
- 五 評価認証に係る手数料の収納の方法に関する事項
- 六 選任評価員の選任及び解任に関する事項
- 七 評価認証の業務に関する秘密の保持に関する事項
- 八 選任評価員の配置に関する事項
- 九 評価認証の業務の実施体制に関する事項
- 十 その他評価認証の業務の実施に関し必要な事項

(掲示の記載事項)

第3条 要綱第15条に定める事項は、次に掲げるものとする。

- 一 認証機関認定番号
- 二 認証機関認定の有効期間
- 三 認証機関の氏名又は名称
- 四 認証機関の代表者の氏名
- 五 主たる事務所の所在地及び電話番号
- 六 実施する評価認証の区分と評価ツール
- 七 その事務所が業務を行う区域

(認証の方法)

第4条 評価認証は、次に掲げるものに基づき行うこととする。

- 一 評価認証申請書及び申請図書等の書類審査
- 二 必要に応じて申請者のヒアリング

(認証書に記載すべき事項)

第5条 要綱第16条に定める認証書(様式別記)の記載事項は、次に掲げるものとする。

- 一 評価結果に関する事項
- 二 認証建物名称に関する事項
- 三 申請者名及び建設地に関する事項
- 四 評価段階、評価ツールに関する事項
- 五 評価認証書の交付番号、交付年月日及び有効期限に関する事項
- 六 認証機関の名称及び代表者氏名
- 七 その他必要事項

(認証票等に記載すべき事項)

第6条 要綱第16条に定める評価結果の記載事項は次に掲げるものとし、一般財団法人建築環境・省エネルギー機構(以下、「財団」という。)が定めた様式に従い交付する。

- 一 建物概要に関する事項
- 二 認証建物名称に関する事項
- 三 評価内容に関する事項(各ツールにおける評価ソフトの評価結果表示のうち、主要な部分を含むこと)
- 四 評価段階、評価ツールに関する事項
- 五 認証機関の名称
- 六 その他必要事項

2 要綱第16条に定める認証票の記載事項は次に掲げるものとし、財団が定めた様式に従い交付する。

- 一 CASBEE 評価のツール名称
- 二 スターマークによる評価結果
- 三 認証機関の名称

(表示)

第7条 認証を受けた者は、認証書、評価結果、認証票を、認証を受けた建築物や広告物等に使用することができる。ただし、第10条に定める有効期間を過ぎた場合には、表示を行うことはできない(有効期間を過ぎていることを、その表示と共に明らかに確認できる形で表示する場合にはこの限りではない)。

2 前項に定める表示を行う場合、認証機関より交付を受けた認証書、評価結果、認証票の全部または一部を改ざんして使用してはならない。なお、認証書、評価結果、認証票の使用方法等については別に定める。

(有効期間等)

第8条 認証の有効期間は次の各号に定める通りとする。なお次の各号に記載されていない評価ツールにおける認証の有効期間については別に定める。

- 一 CASBEE 戸建-新築、CASBEE-戸建（新築）、CASBEE-新築、CASBEE-新築（簡易版）、CASBEE-建築（新築）、CASBEE-短期使用による場合は、竣工日（竣工前の場合には竣工予定日）を起算日として3年を経過した日の前日まで
- 二 CASBEE-改修、CASBEE-改修（簡易版）、CASBEE-建築（改修）による場合は、工事完了日（工事完了前の場合には工事完了予定日）を起算日として3年を経過した日の前日まで
- 三 CASBEE-既存、CASBEE-既存（簡易版）、CASBEE-建築（既存）、CASBEE 不動産マーケット普及版、CASBEE-不動産、CASBEE-まちづくり、CASBEE-街区による場合は、認証書を交付した日を起算日として5年を経過した日の前日まで

(実績報告)

第9条 要綱第18条第1項に定める報告の内容は次に掲げるものとし、財団が定めた様式に従い報告する。

- 一 評価認証業務を行った建物概要及び評価内容に関する事項
- 二 その他関連事項

(公表の内容)

第10条 要綱第19条第1項に定める公表の内容は次に掲げるものとする。

- 一 認証機関名
 - 二 評価認証番号
 - 三 建築物の名称（第1条第一号および第二号に定める区分の認証の場合は非公表とすることができる）
 - 四 評価認証日
 - 五 有効期限
 - 六 申請者名（第1条第一号および第二号に定める区分の認証の場合は非公表とすることができる）
 - 七 建設地（建設地の住所表記のうち市区町村までを公表の範囲とする。また、第1条第一号および第二号に定める区分の認証の場合は非公表とすることができる）
 - 八 建物用途（CASBEE 評価上の用途名とする）
 - 九 評価ツール名および評価段階（評価段階は CASBEE-新築および CASBEE-建築（新築）の場合にのみ公表する）
 - 十 評価ランク（第1条第一号および第二号に定める区分の認証の場合は非公表とすることができる）
 - 十一 評価結果書（第1条第一号および第二号に定める区分の認証の場合は非公表とすることができる）
- 2 公表を行う場合、財団は要綱第19条第1項に定める認証取得者からの掲載承諾書の

内容に従い公表を行う。ただし、前項の各号において非公表とすることができる内容については、認証取得者が非公表とすることを希望する場合には、財団はその内容は公表しない。

- 3 前項における掲載承諾書は財団が定めた様式に従うものとする。
- 4 財団は、認証機関から要綱第18条第1項に定める報告がなされた後、90日以内に認証取得者から前項に定める掲載承諾書の届出がなされない場合には、当該認証機関と協議の上、第1項の各号に定める内容について公表することができる。
- 5 公表はCASBEEのホームページを通じて行うものとする。また、当該物件について認証を行った機関が自らのホームページ等で公表を行うことは、これを妨げない。

(帳簿)

第11条 要綱第20条第1項に定める事項は、次に掲げるものとする。

- 一 評価認証の申請を受け付けた年月日
 - 二 評価認証を行った年月日
 - 三 評価認証書に記載した事項
 - 四 評価認証の業務を行った選任評価員の氏名
 - 五 当該建物の評価認証の業務に関する手数料の額
- 2 前項各号に掲げる事項が電子データとして保存されているときは、帳簿に代えることができる。
 - 3 認証機関は、その業務の全部を廃止するまで保存しなければならない。
 - 4 前項により、認証機関がその業務の全部を廃止したときは、帳簿及び第12条に定める書類を財団に引き継がなければならない。

(書類の保存)

第12条 要綱第20条第2項に定める事項は、次に掲げるものとする。

- 一 評価認証申請書及び申請図書等
 - 二 評価認証が妥当と判断する根拠となる資料
- 2 前項に定める評価認証の業務に関する資料の保存期間は認証期間満了後1年間とする。

(連絡会議)

第13条 認証機関は、評価認証の業務の公正・円滑な運営を図るために、「CASBEE 評価認証機関等連絡会議」に参加するものとする。

- 2 連絡会議は財団内に置く。なお、連絡会議への参加費は別に定める。

附則

この規則は平成19年11月8日より施行する。

改正 平成20年 5月30日

改正 平成24年10月1日

改正 平成25年8月7日

改正 平成 2 7 年 5 月 1 9 日

改正 平成 2 7 年 1 2 月 2 2 日

(別記1-1 第5条関係：認証書様式例) (第1条第一号に定める区分の場合)

(認証番号)

C A S B E E 戸建評価認証書

(評価認証機関の要綱) 第〇条の規定に基づき評価した結果
C A S B E E による建築物の総合環境性能評価が的確であると認証
する

記

評 価 () ランク

建 物 名 称 :
申 請 者 :
建 設 地 :
評 価 段 階 :
評 価 ツ ー ル :
有 効 期 限 :

(交付年月日)

(C A S B E E 評価認証機関)

(代表者)

(別記1-2 第5条関係：認証書様式例) (第1条第二号に定める区分の場合)

(認証番号)

C A S B E E 建築評価認証書

(評価認証機関の要綱) 第〇条の規定に基づき審査した結果
C A S B E E による建築物の総合環境性能評価が的確であると認証
する

記

評 価 () ランク

建 物 名 称 :
申 請 者 :
建 設 地 :
評 価 段 階 :
評 価 ツール :
有 効 期 限 :

(交付年月日)

(C A S B E E 評価認証機関)

(代表者)

(別記1-3 第5条関係：認証書様式例) (第1条第三号に定める区分の場合)

(認証番号)

C A S B E E 不動産評価認証書

(評価認証機関の要綱) 第〇条の規定に基づき審査した結果
C A S B E E -不動産による評価結果が的確であると認証する

評 価

(★のランク表示) () ランク () 点

建 物 名 称 :
申 請 者 :
建 設 地 :
評 価 ツール :
有 効 期 限 :

(交付年月日)

(C A S B E E 評価認証機関)

(代表者)

(別記2-1 第6条第1項関係：評価結果様式例) (第1条第一号に定める区分の場合)

CASBEE[®]-戸建(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2014年版

■使用評価ソフト:

CASBEE-DH_NC_2014v1.0

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	0		仕様等の確定状況	建物の仕様	一部確定
竣工年月	2014年●月●日	予定		持ち込み家電等	一部確定
建設地	●●県●●市		<備考>	外構の仕様	確定
用途地域	0	仮			
省エネルギー地域区分	6 地域		評価の実施日	2014年●月●日	
構造・構法	0	0	作成者	○○○○	
階数	2	0	確認日	2014年●月●日	
敷地面積	110 m ²	0	確認者	□□□□	
建築面積	75 m ²	#####			
延床面積	150 m ²				
世帯人数	4	0			

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 戸建の環境効率率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.4 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B': ★★★★★ C: ★</p> <p>環境負荷 L</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>戸建標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです。</p>	<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>Q2 長く使い続ける</p> <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.0</p>		
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>Q1のスコア = 3.0</p> <p>暑さ・寒さ 健康と安全・安心 明るさ 静かさ</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>Q2のスコア = 3.0</p> <p>長寿命に対する基本性能 維持管理 機能性</p>	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>Q3のスコア = 3.0</p> <p>まちなみ・景観への配慮 生物環境の保全と創出 地域の安全・安心 地域の資源の活用と住文化の継承</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5</p>		
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>LR1のスコア = 4.3</p> <p>総合的な省エネ 水の節約 維持管理と運用の工夫</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>LR2のスコア = 3.0</p> <p>省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用 生産・施工段階における廃棄物削減 リサイクルの促進</p>	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>LR3のスコア = 3.3</p> <p>地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 周辺環境への配慮</p>

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	Q2 長く使い続ける	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする
LR1 エネルギーと水を大切に使う	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

(別記2-2 第6条第1項関係：評価結果様式例) (第1条第二号に定める区分の場合)

評価結果

CASBEE-建築(新築)

使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v2.0)

認証番号：(認証番号を記入)

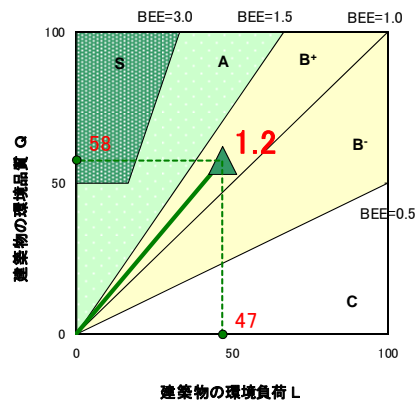
交付日：2015年9月9日

(認証物件名)

(認証機関名)

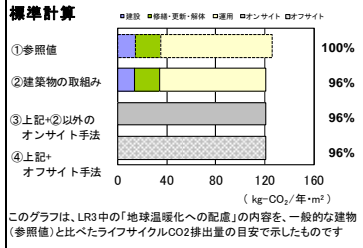
建物用途		敷地面積	9999.99㎡
建設地		建築面積	999.99㎡
気候区分		延床面積	9999.99㎡
地域・地区		階数	地上99F、地下99F
竣工日	2008年3月5日	構造	RC造

建築物の環境効率 (BEE: Built Environment Efficiency)



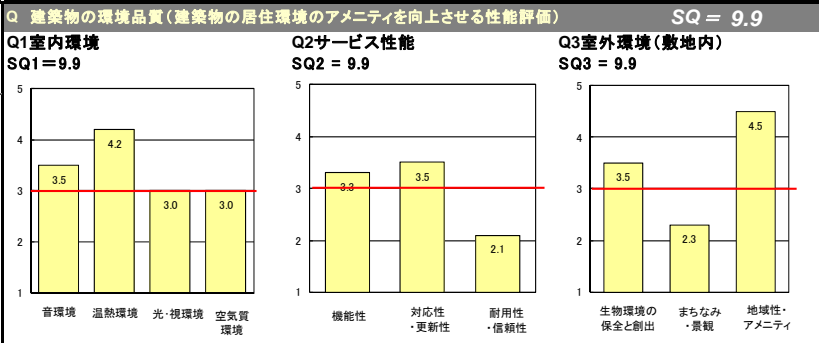
$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質} Q}{\text{建築物の環境負荷} L} = \frac{25 \times (SQ-1)}{25 \times (5-SLR)} = \frac{99}{99} = 9.9$$

ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

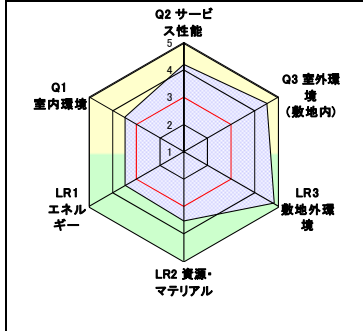


このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

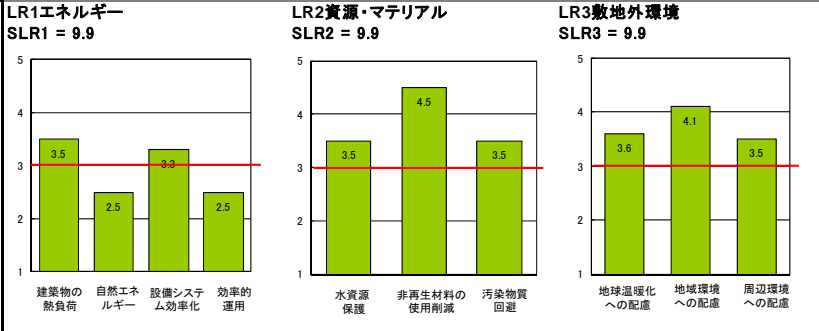
中項目の評価(バーチャート)



大項目の評価(レーダーチャート)



LR 建築物の環境負荷低減性(建築物の環境負荷を低減させる性能評価)



(別記2-3 第6条第1項関係：評価結果様式例) (第1条第三号に定める区分の場合)

CASBEE-不動産 【オフィス】		評価結果	
■ 建物評価用マニュアル-CASBEE-不動産(オフィス) (2014年版) ■			
建物概要	建物名称 〇〇ビル	敷地面積 8,000 m ²	評価の段階 運用段階評価
	建設地 〇〇県〇〇市〇〇〇〇〇	建築面積 8,500 m ²	評価の実施日 20XX/XX/XX
	用途地域 商業地域、防火地域	延床面積 50,000 m ²	作成者 〇〇〇
	建物用途 事務所	階数 地上〇〇F	不動産評価員番号 〇〇〇
	竣工年月 19XX/XX/XX	構造 RC造	確認日 20XX/XX/XX
	直近の大規模改修実施年月 20XX/XX/XX	平均居住人員 XXX 人	確認者 〇〇〇
		年間使用時間 XXX 時間/年	不動産評価員番号 〇〇〇

評価結果	総合 76.3 /100	合計	★ ★ ★ ★ ★	S ランク: ★★★★★ ≥ 78
	(得点 / 満点)		★ ★ ★ ★ ☆	A ランク: ★★★★★ ≥ 66
			★ ★ ★ ★ ☆	B+ランク: ★★★★★ ≥ 60
			★ ★ ★ ★ ☆	B ランク: ★★★★★ ≥ 50

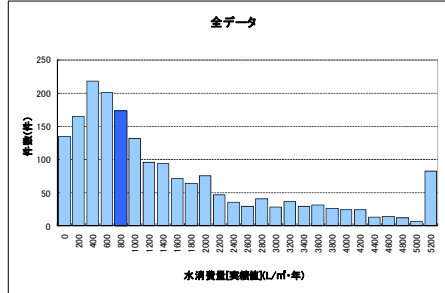
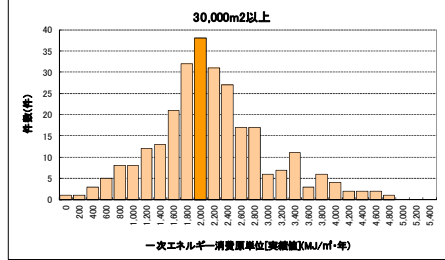
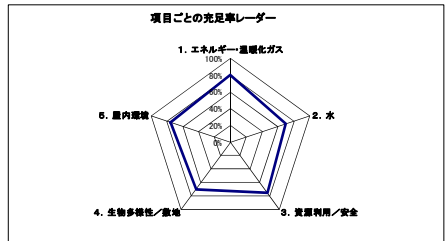
1. エネルギー/温暖化ガス	評価 適合	最大加減 -1.0 / +1.0	必須項目 省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制	指標 一次エネルギー(目標値)	評価値 1,250 MJ/m ² ・年
			根拠等 PALL、CECの基準値以下、年間実績を把握し、ベンチマーク比較実施 テナントと共同で省エネ目標設置		
1.1 使用・排出原単位(計算値)	評価 適合	最大加減 -20.0 / +25.0	必須項目 省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制	指標 一次エネルギー(計画値) 二次エネルギー(°) CO2排出量(°)	評価値 1,554.0 MJ/m ² ・年 159.0 kWh/m ² ・年 66.0 kg-CO ₂ /m ² ・年
			根拠等 計測・検算・検算、再算機の消費量 2次エネルギーは参考値		
1.2 使用・排出原単位(実績値)	評価 適合	最大加減 -3.0 / +5.0	必須項目 ビル全体の消費量 10フロア中、2フロアにデータセンターが入居	指標 一次エネルギー(実績値) 二次エネルギー(°) CO2排出量(°)	評価値 2,031.0 MJ/m ² ・年 208.0 kWh/m ² ・年 89.0 kg-CO ₂ /m ² ・年
			根拠等 太陽光発電: 出力100kW (12%)	利用率 12.0 %	
1.3 自然エネルギー	評価 適合	最大加減 -5.0 / +5.0	必須項目 太陽光発電: 出力100kW (12%)	利用率 12.0 %	
			合計	29.0 / 36	

2. 水	評価 適合	最大加減 -4.0 / +5.0	必須項目 目標設定、モニタリング、運用管理体制	指標 水使用量(目標値)	評価値 680.0 L/m ² ・年
			根拠等 水使用実績を把握		
2.1 水使用量(計算値)	評価 適合	最大加減 -3.0 / +5.0	必須項目 水使用実績を把握	指標 水使用量(計画値)	評価値 680.0 L/m ² ・年
			根拠等 雨水利用を含む		
2.2 水使用量(実績値)	評価 適合	最大加減 -7.0 / +10.0	必須項目 水使用実績を把握	指標 水使用量(実績値)	評価値 800.0 L/m ² ・年
			合計	7.0 / 10	

3. 資源利用/安全	評価 適合	最大加減 -5.0 / +5.0	必須項目 新耐震基準への適合または3種、3種	指標 経過年数+今後の想定耐用年数	評価値 75 年
			根拠等 RC0.6に向けた改修工事を実施済み		
3.1 高耐震・免震等	評価 適合	最大加減 -3.0 / +5.0	必須項目 RC0.6に向けた改修工事を実施済み	指標 更新年数の平均値	評価値 15 年
			根拠等 ① 耐震性 ② 免震・制振機能		
3.2 再生材利用	評価 適合	最大加減 -2.0 / +5.0	必須項目 ①と②の平均で評価する	指標 更新年数の平均値	評価値 15 年
			根拠等 ① 躯体材料 ② 非構造成材料		
3.3 躯体材料の耐用年数	評価 適合	最大加減 -3.0 / +5.0	必須項目 住宅性能表示耐震等級3相当	指標 更新年数の平均値	評価値 15 年
			根拠等 住宅性能表示耐震等級3相当		
3.4 主要設備機器の更新必要期間/設備の自給率向上/維持管理	評価 適合	最大加減 -4.0 / +2.0	必須項目 15年を主要更新期間として計画	指標 自給率向上の取組数	評価値 3 ポイント
			根拠等 ① 設備(電力等) ② 設備(電力等) ③ 維持管理		
			合計	15.0 / 20	

4. 生物多様性/敷地	評価 適合	最大加減 -3.0 / +5.0	必須項目 特定外来生物・未特定外来生物・要注意外来生物を使用しない	指標 取得総表による場合のポイント数	評価値 1 ポイント
			根拠等 外来生物法(栽培、輸入等)建業者が厳い(要注意外来生物)を遵守		
4.1 生物多様性の向上	評価 適合	最大加減 -4.0 / +5.0	必須項目 特定外来生物・未特定外来生物・要注意外来生物を使用しない	指標 取得総表による場合のポイント数	評価値 1 ポイント
			根拠等 [4.2を除くものは点数を割]		
4.2 土壌環境品質・ブドウワーム発生	評価 適合	最大加減 -3.0 / +5.0	必須項目 採取の自然観念に即した健全計画としている。	指標 取得総表による場合のポイント数	評価値 1 ポイント
			根拠等 [対策不要は対象外]		
4.3 公共交通機関の接近性	評価 適合	最大加減 -4.0 / +5.0	必須項目 駅直結が徒歩10分	指標 取得総表による場合のポイント数	評価値 1 ポイント
			根拠等 駅直結が徒歩10分		
4.4 自然災害リスク対策	評価 適合	最大加減 -4.0 / +5.0	必須項目 液状化、津波、斜面災害、落石の恐れはない。	指標 リスクの合計数	評価値 2 種類
			根拠等 水害、地震動のリスクがあるが有効な対策を実施		
			合計	14.0 / 20	

5. 屋内環境	評価 適合	最大加減 -3.3 / +5.0	必須項目 建築物衛生管理の標準または質問票への適合	指標 開口率	評価値 14.0 %
			根拠等 建築物衛生法の記録を保持しており、基準を準拠		
5.1 昼光利用	評価 適合	最大加減 -3.0 / +4.0	必須項目 ① 自然採光 ② 昼光利用設備	指標 開口率 昼光利用設備	評価値 14.0 % 1 種類
			根拠等 ① 自然採光 ② 昼光利用設備		
5.2 自然換気性能	評価 適合	最大加減 -4.0 / +5.0	必須項目 有効開口面積が居室面積の1/25	指標 開口率 昼光利用設備	評価値 14.0 % 1 種類
			根拠等 有効開口面積が居室面積の1/25		
5.3 騒音	評価 適合	最大加減 -4.0 / +5.0	必須項目 全ての執業者が十分な騒音対策を講ずることを確保	指標 天井高	評価値 2.0 m以上
			根拠等 全ての執業者が十分な騒音対策を講ずることを確保		
			合計	11.3 / 15	



環境性能の特徴

- ・建物の省エネルギー性能、及び節電に関する運用上の工夫により、エネルギー/温暖化ガスの項目が高い評価となっている。
- ・きめ細かいメンテナンスの実施により、法定耐用年数を上回る更新必要期間となっており、資源利用/安全の項目で高い評価となっている。
- ・水の使用実績が、設備仕様や館内人数から想定される使用量を上回っており、運用上の工夫の余地があるものと考えられる。
- ・公共交通が至便の箇所にあり、また自然災害リスクの少ないことが、生物多様性/敷地の項目で評価点を高めている。
- ・採光面積、自然換気開口率なども高く、屋内環境の評価点を高めている。

評価機関、評価員記名欄
記号機関記名欄

店舗用途の場合はこの部分は不要

(別記3 第6条第2項関係：認証票)

CASBEE 評価認証機関認定制度要綱施行規則第6条第2項に基づく、認証票は次によるものとする。認証票の使用に関しては、別に定める規定に従うものとする。

(カラーの場合)



(モノクロの場合)



注 1. ツール名は次のように記載する。

CASBEE 新築及び CASBEE-建築(新築)は「新築」 CASBEE 既存及び CASBEE-建築 (既存)は「既存」、CASBEE 改修及び CASBEE-建築 (改修)は「改修」、CASBEE 新築 (簡易版)は「新築 (簡易版)」、CASBEE 既存 (簡易版)は「既存 (簡易版)」、CASBEE 改修 (簡易版)は「改修 (簡易版)」

CASBEE 戸建-新築及び CASBEE-戸建 (新築)は、「戸建 (新築)」

CASBEE 不動産マーケット普及版及び CASBEE-不動産は、「不動産」

2. ツール名に続けて認証交付年を西暦で記載する。

3. 認証機関名を記載する。必要に応じ認証機関の略称を併記することができる。

(別記4-1 第9条関係：実績報告書) (第1条第一号に定める区分の場合)

届出日 平成 年 月 日

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構

CASBEE 評価認証事務局 宛

認証機関名： _____

届出者： _____

CASBEE 戸建評価認証物件実績報告書

当機関は、CASBEE 戸建評価認証を行ったので、CASBEE 評価認証機関認定制度要綱第18条に従い、業務実績について下記の通り報告します。

記

1) 認証番号	
2) 認証物件名	
3) 認証日	
4) 有効期限	
5) 申請者	
6) 設計者	
7) 施工者	
8) 建設地	
9) 竣工年月 (竣工前の場合は予定を記入)	
10) 建物用途	
11) 延床面積	
12) 評価ツール	CASBEE-戸建 (新築) (〇〇〇〇年版)
13) 評価結果	〇ランク、BEE=〇.〇 SQ1= SQ2= SQ3= SLR1= SLR2= SLR3=

(複数物件の報告を行う場合には、上表を適宜追加してください。)

以 上

(別記4-2 第9条関係：実績報告書) (第1条第二号に定める区分の場合)

届出日 平成 年 月 日

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構

CASBEE 評価認証事務局 宛

認証機関名： _____

届出者： _____

CASBEE 建築評価認証物件実績報告書

当機関は、CASBEE 建築評価認証を行ったので、CASBEE 評価認証機関認定制度要綱第18条に従い、業務実績について下記の通り報告します。

記

1) 認証番号	
2) 認証物件名	
3) 認証日	
4) 有効期限	
5) 申請者	
6) 設計者	
7) 施工者	
8) 建設地	
9) 竣工年月 (竣工前の場合には 予定を記入)	
10) 建物用途 (CASBEE 上の用 途を記入)	
11) 延床面積	
12) 評価ツール	CASBEE- (〇〇〇〇年版)
13) 評価段階	<input type="checkbox"/> 基本設計段階、 <input type="checkbox"/> 実施設計段階、 <input type="checkbox"/> 竣工段階 ※評価ツールが CASBEE 新築、新築(簡易版)、建築(新築)の場 合のみ記入
14) 評価結果	〇ランク、BEE=〇.〇 SQ1= SQ2= SQ3= SLR1= SLR2= SLR3=

(複数物件の報告を行う場合には、上表を適宜追加してください。)

以 上

(別記4-3 第9条関係：実績報告書) (第1条第三号に定める区分の場合)

届出日 平成 年 月 日

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構

CASBEE 評価認証事務局 宛

認証機関名： _____

届出者： _____

CASBEE 不動産評価認証物件実績報告書

当機関は、CASBEE 不動産評価認証を行ったので、CASBEE 評価認証機関認定制度要綱第18条に従い、業務実績について下記の通り報告します。

記

1) 認証番号	
2) 認証物件名	
3) 認証日	
4) 有効期限	
5) 申請者	
6) 建設地	
7) 建設年	
8) 建物用途 (CASBEE 上の用途を記入)	
9) 延床面積	
10) 評価ツール	CASBEE-不動産 (〇〇〇〇年版)
11) 評価結果	〇ランク、〇〇.〇点

(複数物件の報告を行う場合には、上表を適宜追加してください。)

以 上

(別記5-1 第10条第3項関係：掲載承諾書) (第1条第一号に定める区分の場合)

届出日 平成 年 月 日

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 (IBEC)

CASBEE 評価認証事務局 宛

(会社名)

申請者 (代表者名)

印

(所在地)

CASBEE 戸建評価認証物件 掲載承諾書

この度、私は(認証機関名)より CASBEE 戸建評価認証を受けたので、CASBEE 評価認証機関認定制度要綱第18条に従い、貴財団のホームページにおける認証物件一覧について下記の通り掲載することを承諾します。

記

ホームページへの 公開・非公開の選択	項目	内容
公開	認証機関名	
公開	評価認証番号	
<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	建築物の名称	
公開	評価認証日	
公開	有効期限	
<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	認証取得者 (申請者)	
<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	建設地 (市区町村まで記入)	
公開	評価ツール名	
<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	評価ランク	○ランク
<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	BEE値	○.○
<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	ホームページへの評価結果書の公開	公開にチェックした場合には、公開用の評価結果書のPDFファイルを電子メールでIBECにお送りください
<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	ホームページへの物件写真の公開	公開にチェックした場合には、掲載用の外観写真1点を電子メールでIBECにお送り下さい。財団はCASBEEのホームページ等で認証物件であることを紹介させていただきます。

以上

(別記5-2 第10条第3項関係：掲載承諾書) (第1条第二号に定める区分の場合)

届出日 平成 年 月 日

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 (IBEC)
CASBEE 評価認証事務局 宛

(会社名)
申請者 (代表者名) 印
(所在地)

CASBEE 建築評価認証物件 掲載承諾書

この度、私は (認証機関名) より CASBEE 建築評価認証を受けたので、CASBEE 評価認証機関認定制度要綱第18条に従い、貴財団のホームページにおける認証物件一覧について下記の通り掲載することを承諾します。

記

ホームページへの 公開・非公開の選択	項目	内容
公開	認証機関名	
公開	評価認証番号	
<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	建築物の名称	
公開	評価認証日	
公開	有効期限	
<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	認証取得者 (申請者)	
<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	建設地 (市区町村まで記入)	
公開	建物用途 (CASBEE上の用途を記入)	
公開	評価ツール名	
公開	評価段階	<input type="checkbox"/> 基本設計段階、 <input type="checkbox"/> 実施設計段階、 <input type="checkbox"/> 竣工段階 ※評価ツールが CASBEE 新築、新築 (簡易版)、建築 (新築) の場合のみ記入
<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	評価ランク	<input type="radio"/> ランク
<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	BEE値	<input type="radio"/> . <input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	IBECホームページへの 評価結果書の公開	公開にチェックした場合には、公開用の評価結果書のPDFファイルを電子メールでIBECにお送りください
<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	ホームページへの物件 写真の公開	公開にチェックした場合には、掲載用の外観写真1点を電子メールでIBECにお送り下さい。財団はCASBEEのホームページ等で認証物件であることを紹介させていただきます。

以上

(別記5-3 第10条第3項関係：掲載承諾書) (第1条第三号に定める区分の場合)

届出日 平成 年 月 日

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 (IBEC)
CASBEE 評価認証事務局 御中

(会社名)
申請者 (代表者名) 印
(所在地)

CASBEE 不動産評価認証物件 掲載承諾書

この度、私は (認証機関名) より CASBEE 不動産評価認証を受けたので、CASBEE 評価認証機関認定制度要綱第18条に従い、貴財団のホームページにおける認証物件一覧について下記の通り掲載することを承諾します。

記

項目	内容	
認証機関名		
評価認証番号		
建築物の名称		
評価認証日		
有効期限		
認証取得者 (申請者)		
建設地 (市区町村まで記入)		
建物用途 (CASBEE上の用途を記入)		
評価ツール名	CASBEE-不動産 (〇〇〇〇年版)	
評価結果	〇ランク、〇〇.〇点	
ホームページへの評価結果書の公開	評価結果書の公開は必須です。評価結果書のPDFファイルを電子メールでIBECにお送りください	
ホームページへの物件写真の公開	公開非公開の選択 <input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	公開にチェックした場合には、掲載用の外観写真1点を電子メールでIBECにお送り下さい。財団はCASBEEのホームページ等で認証物件であることを紹介させていただきます。

以上